

○ OB つうしんから

1. 昭和 43 年 7 月 18 日第 1 号

- 1) 昭和 42 年 12 月 16 日 OB 会が発足。初代会長は草野権和氏
- 2) 第 1 回の役員会（役員は会長一人）を開催して役員会を開催して、会則草案をまとめる。  
「草案は、以下の 7 項目で各項は簡潔明瞭無味乾燥気味なことばで綴られているが、それは起草者が多くを書くのをじゃまくさがったためとみられる。」と書いておられる。

・草案は下記

第 1 条（名称） 関西学院大学地理研究会 OB 会

第 2 条（本部） 歴代会長宅におく

第 3 条（会員） 卒業時に地理研会員であった者のうち、拒否または忌避あるいわ逃亡によって入会の意志のないことを明白に表現したものを除くすべてを自動的に会員とする。

第 4 条（役員） 会長は会員の中から納得のいく方法で選ばれる。

第 5 条（会費） 原則として徴収しない。

第 6 条（活動） 会員相互の親睦交流と地理研への種々の援助。総会は年 1 回文化の日に開催する。

第 7 条（改正） 会則の改正は会員の 1 人以上によって発案され全会員の過半数の賛成で可決される

3) 待望「睦月」の発刊

昨年春出された機関紙「野島」に続いてこのたび瀬戸内調査シリーズ第 2 弾「睦月」が発行された。もっともっと早く出る予定が各方面の都合等でいままでのびのびになっていたもので、現地調査以来実に 1 年 3 か月を費やしている。ちと遅いきらいはないでもないが、ともかく出てよかった。

睦月はこれで終わったのではない。この本をいかに料理するかが今後の課題である。できるだけ早く批評会を開く必要がある。これをせんけりゃ地理研アカン。

2. 昭和 43 年 8 月 25 日第 2 号

1) 走島のまとめやっと出来

何と 2 年 5 か月ぶりの新記録。地理研は発足にあたって第 1 回合宿地を広島県福山市に決め S41 年 3 月 11 日から 14 日までの 4 日間、創立メンバーのうち 9 名に大島顧問及び高等部の池野先生を加え計 11 名で合宿をしたが、この調査のまとめがこのほど当時のメンバーのうち一番ヒマな現 OB 会長草の君の手で「走島報告」として一応出来上がった。

現地調査以来実に 2 年 5 か月ぶりで、その遅さは他に比類ないと関係者を驚嘆させている。まとめは 60 枚の原稿とスライドおよびその解説テープからなっている。スライドは会員田中君があちこちから借り集めてほぼ完成していたものを再び整理したもの。テープはところどころスイッチの音が入って聞きづらいが、その点は声の良さでカバーしたと声の出演者は言っている。スライド枚数はわずか 323 枚で上演時間は約 15 分。初公開は 9 月に入ってからになるが、その前に OB 会員の間で内緒で楽しもうと会長は今、

その日程を検討中である

2) 柱島合宿から

- ・ 今度の合宿調査で特に注目されたのは女子会員が 8 名参加したこと。4 年にご存知キク工宮本君。3 年はよく耐えてこられた中村君と浅野君及び丸尾氏  
(2 年平岡君、1 年生岡本君、福嶋君、松田君が紹介されている)
- ・ 合宿調査は 12 日に終わったが、翌 13 日にスイカ割りや魚釣りを楽しんだ。カナズチ三好君は水浴びの最中みんなに水中に放り込まれビョビョになったが、それでも例の何とも言えぬ三好スマイルは絶やさない

かったという。いつも心に微笑みを、であるか。

- ・かなりヒマな4年生のうち漁業パートをカバーした竹中君（地理研のジュリーこと漁業チーフ島田君は最愛のおかあちゃんに、「この忙しいのにしょうもない合宿なんか行かんとき、」と言われてやむを得ずやめた）を除く冨江、三好、大西秀、大西宏の諸君は合宿中、この柱島を卒論のテーマに選んだ才女宮本君の手となり足となって働き、いかなる援助もおしまなかったという。ほほえましい光景が目にかぶようではないか、諸君！

### 3) 五島列島から九州長崎、雲仙、阿蘇を回り、自作の歌を作詞、作曲。

「Song for Tomorrow」

- ① 碧い海 海尽きるとも/忘れはしない/あの日 あの夜 あの歌声を/忘れはしない/誰にも逢わず  
誰にも逢った/この島のこと
- ② 白い雲 雲はつるとも/涙はしない/風で消した はるかな恋に/涙はしない/  
別れの手紙 三度も書いた/あの君のこと
- ③ 緑の山 やまつづくとも/うらみはしない/暗い溪と径たに みちなきなき径を/うらみはしない/もうすぐきつ  
と 朝あしたにとどく/この夜のこと
- ④ 南の風 風ぬるむとも/かわりはしない/北の風 雪積もるとも/かわりはしない  
みんなにつづき われらをつくる/喜びのこと

※ご希望の方には個人指導します

### 3. 昭和43年9月29日第3号

#### 1) 部室建つ

先月号速報のとおり、地理研、I.I.R.G.B.S3クラブ共同の部屋をたてるための敷地は学校当局から借用できることになっていたが、このほど部室は以上3クラブ員の手によって社会学部ウラの私有地からプールウラの公有地へ移転した。

移転は日曜日の9月21日、青空の下、朝9時過ぎから始められた。まず、歴研から購入してそのまま居座っていた社会学ウラの私有地にGBS7人、IIR10余人、地理研9人のほかに、急ぎ頼み込んだ竹中工務店の現場監督2人が集まった。作業はまず解体から。人手が十分あり、また松原君のライトバンが使えたため運搬は早く済み。1時間半あまりを要して11時半ごろ解体と運搬は終わった。

食事後組み立てが始まり、土台の確定、柱のくみため、床板と壁とのはめこみ、シキイの固定とつづき、屋根のはめこみまであとちょっと、というところで午後2時半ごろ小雨が降りだした。作業を急いだが、シキイがどうしても柱とかみあわない。たたいてもなぐってもウマク入らない。小雨は次第に強くそして太くなる。作業をみまもる20余名はしばし茫然。挫折か、ためいきさえもれた。ここまできてどうしたんやな、というところ。原因が柱の組ちがい、その前に土台の方角がちごてたというので、一時は、もうやめとけ、あいたにしようという声ももれたが（翌日は祝日であった）。そこはそれ元気なやつがいて、もっかい（もう1回の意）やりなおせーということなり、再解体することになったのが4時。

壁を抜きとり柱をはずして、再び元の順序で組み立てなおし。途中雨ははげしくゆるく降り続き、ほとんどみんなズブヌレ。やりなおしてから雨のキツサが幸いしたのか作業はスピードアップ。30分后には屋根をつけ始め、1時間を経て6時丁度に作業のすべてを終えた。時に雨はあがってみんなアーア。

※先月号のうた。楽譜の問合わせはぜんぜんありませんでした

#### 4. 昭和 43 年 10 月 20 日第 4 号

##### 1) OB会第 2 回総会まであと 13 日

昨年 12 月、オイコンのドサクサにまぎれて第 1 回設立総会を開いたことになっている本OB会は、11 月 2 日から 3 日にかけて第 2 回総会を開く。これは今年 7 月に草案が答申されその後なしくず的に成立したOB会則にのっとって開催されるもので、OBにとっては年一度の顔合わせ。現在会員はわずか 4 名であるから全員参加が希望されるが、万障繰り合わせてもやむをえず出席できない場合は仕方がないと総会実行委はみている。会場は、どこでも開けるように集合場所であ相談の上決定することになっている。集合は 11 月 2 日午後 7 時、阪急西宮北口駅今津線宝塚行きホームのベンチ。この時間と場所で都合の悪い会員は早めに会長のもとに通知してほしいと実行委は言っている。予定としては 2 日夜宝塚もしくは神戸（大阪）のホテルまたは旅館に行き総会を開催、その後メシなんかをくったのしんで泊り（実行委の 4 か間に亘る徹底協議の末、持ち込み可とうことに決定した）

翌 3 日昼前に文化祭開催中の母校に乗り込み、わが地理研の展示、モギ店での活躍を見て出来るだけイヤミなケチをつけ、夕刻なんとなく解散するつもりである。なお、同日、“睦月”にかこつけて集め、カンパを地理研会計にもったいぶって手渡しするので、未納の会員は当日持参されたい。

##### 2) 后記

文化祭恒例の野球大学に初出場した地理研精鋭よりなるセト・アイランダーズは、18 日朝の初戦で法Ⅱに 8 体 0 と圧勝した。ホームラン奥田 1 号。監督松原、郷監督は三好、乞うご期待

#### 5. 昭和 43 年 11 月 24 日第 5 号

##### 1) 第 2 回総会終わる

総会は去る 11 月 2 日から 3 日かけて開催された。以下はその雑感である。2 日夜 8 時前に西宮北口に集合したのは田中会員と草野会員。ともかくクラブの奴の顔を見たいという要望でまず現会長村上クンの下宿に到着。3 時間ほどしゃあべりまくり、近所の「ポンタ」で晩飯を食ったあと（ポンタで大西宏一クンに合う）スイミンのためタクシーで宝塚に直行。着いたのが 0 時過ぎ。国際観光旅館だけはやめようとかや、というのであっちこっちと宿やさがしに歩きまわり、行きつもどりつ結構くたびれた。1 時間ほどかかってやっとみつかったのが「内湯あり」「お気軽に・・・」の不法建築の部屋に案内された純情二人、二つ並んだ枕を見てしばし沈黙。複雑な彼ら。しょうがないから一緒にフロに入り「佐柳の合宿以来やな」なんてしばしトツプリ。ビールちょっとのんでいい気分になって床につき、なんやかんやじょうほうを交換したあと田中の方が先に就寝。

※その後、お二人でファミリーランドの人形館、美しの少女歌劇を草野さんのめがねの球が緩くなり苦労して観劇。田中さんは居眠り開始、その後母校に到着。黒田さんの車で仁川ドライブ。

7 時から宝塚ホテルで会食。参加者は、岡本、富江、出合、大西秀、福島、平岡、五味、堀井、増田、高橋、板倉、松原、丸尾、樋上、浅野の 15 人。

##### 2) しょうそく

- ・馬本会員は来春 4 月、6 年越しの純愛が実って“みっちゃん”と結婚式を挙げる。続いて秋には山吹がやろ。ああ神よ、残される二人に
- ・KG 野球大会の結果：2 回戦から 6-1、3-2 と勝ち進んで 4 回戦で優勝チームスポーツ愛好会と対戦押し出しの 1-0 で惜敗
- ・島田クンが実行委員長となって地理研杯争奪麻雀大会の企画が練られている

## 6. 昭和 43 年 12 月 25 日第 6 号

### 1) 新 OB 誕生

地理研の第 2 回追い出し総会は、去る 12 月 14 日午後 5 時ごろから神戸両度山大竜寺で会員約 40 名が参加して盛大に開催され第 2 期 OB7 名が誕生した。これで OB 会は総勢 11 名となった。

新 OB からは、地理研への記念品としてロッカーが贈られた。(重たいので目録が代理をつとめた)  
なお OB からは、電報局もビックリ長い電報を打った新 OB の氏名と OB ナンバーは次のとおり。

(付寸評) 竹中義之(5)・・・天地茂+中山仁÷2、苦悩の兄貴 三好昭行(6)・・・晴れのち雨のち晴、もてもておじさん 宮本キクエ(7)・・・女子部員のパイオニア、知りたくないの 大西宏一(8)・・・非常要員、今もなつかし東京音頭 丹羽巖(9)・・・ゴゴーマイウェイ、胃を大事に 富江憲治(10)・・・地理研きってのウルサ型、カケモチの人 大西秀夫(11)・・・衰退せる加古川閥の象徴、元モテナイ会副会長

### 2) しょうそく

- ・オイコンでは男子会員 2/3 が GG 生死の間をさまよったといわれる。それを見ていたある女子部員 その壮絶さに失神したとかしないとか
- ・第 3 号のトップにスケッチ入りで報道した部室。のびのびになっていたが 18 日に電灯付き 1 月から使用できるみとおしがついた。机は食堂のを失敬

## 7. 昭和 44 年 1 月 18 日第 7 号

### 1) OB 会をどうするか (特別座談会、大西宏一、草野権和、三好昭行、竹中義之、田中良太郎)

去る 1 月 14 日夜 OB 会有志 5 人は草野会長宅に集まり約 2 時間にわたって「OB 会をどうするか」をテーマに話し合った。以下はその全容をテープから収録したものである。議論はこれからの OB 会に関するすべての問題を出し尽くしたとは言えず、横道にもそれたが、それぞれにとって有益だったに違いない。これは OB 会を充実したものとして発展させるために試みた一つのきっかけであり素材であるから、この記録を基に今後 OB 間で大いに議論をたたかわせてほしい。

## 8. 昭和 44 年 5 月 20 日第 10 号

### 1) 地理研こちら

- ・紛争いまだ治まらずといえど、地理研は毎週火曜は例会を続けています。6 月いっぱい自由テーマで等 4 グループの読書会を実施せり
- ・先日小寺学長代行から「関学の改革に関する提案」が出され、現在それを材料にクラス、ゼミ学科で検討のための集会在ひらかれています。問題少なからぬ提案ですが関学としてはこんなこと今までなかったことですから評価はしなければならぬでしょう。

## 9. 昭和 44 年 10 月 19 日第 14 号

### 1) あの橋の上に集まれ

第 3 回の Ob 総会を 11 月 2 日から 3 日にかけて開く。総会とはいっても、もちろん施政方針演説があたり、造反会員がゲバ・ヘル姿で大衆団交を要求するだけでなく、例によってなんとなくそのくせまるで恋人に会うみたいにそれぞれ集まり、食い、のみ、そして共に寝るだけありますが 8 として去年の例によれば財布がからっぽになるのでありますが)、そこはそれぞれ友達なんで、会いたいのでもあります。

うれしいのであります。-2 日は日曜日だから午後 1 時に集まるということにしよう。場所は、年のはじめの OB 歓迎会の時と同じ大阪駅前の中央郵便京と新阪神ビルに架かっている陸橋。それからど

こへ行って何をするか、考えておいてほしいのですが、ちょうどアメリカンの試合があるので観てもいいね

晩メシ食って、念願の宝塚ホテルに泊まるというのがこの日のコース。みんな一緒に、とはいかないので1室3人でごしんぼうのほどを。1室6千円になっておりますからそのつもりで。翌3日は文化祭見物とあいなるわけありますが、ひょっとしたらひょっとして、粉碎されたあとの荒廃を視察しなければならんかもしれません。

#### 10. 昭和45年3月20日第16(休刊)号

1)OBの消息紹介：丹羽氏、井上氏、末広氏、富江氏、松原氏、黒田氏、板倉氏、

2)大島先生「地理屋無情」

草野君を連れだして大村湾の調査に行ってきた。2日目か3日目、急に冷え込んだが祟って私は風邪をひいた。旧友で住職のF氏(そのF寺というのを宿にしていたが)が心配して医者を呼んでくれ、「草野君「明日は寝ていてください」と言う。何しろ退院後初の調査とて体調は不良。ここでおとなしく1日寝るのが常識。しかし翌日(ちっともよくなっていなかったが)私は敢えて行動した。お陰でその日は大収穫、カリエスで入院している郷土史家と、志摩から嫁いで来た老(?)海女と高島真珠創成期を知る古老とともに聞き取りを果たした。漁協と図書館に行った草野君よりも余計に歩いた(歩かざるをえなかったというひどい道)その疲労を、やはり寝ていないでよかったという満足感で補って余りある思いだった。やはり、どこかへ行ったら、そこで遮二無二動かなければ損だ。これが地理屋としての私の業なのだろう。

3)休刊の記

この号をもってひとまず休刊。16号までしか続かなかったけど、その間楽しんで読んでくださった人々に心から“おおきに”を申します。いわば私信だったからこういう形で終わるしかない。しかしこれは休刊号。いずれは何とか続けたい。やる、という第2のオッチョコチの出現を待つ。4月から東京に出て働く。理想社という小さな出版社の編集者のはしくれになる。おおげさに言えば「OB つうしん」は、人より2、3年オクテだった僕の少年時代のモニュマンの1つ。たぶん私は地理研を愛したと思う。地理研をつうじて青春を愛した。地理研によって人をみつけそして愛したこいつとあいつと共にあった私の青春は、かくして再び終わる。現役の諸君よ、頑張ってくれ。何のためでも誰のためでもなく己のために、己は寂しい人との交わりのために。女なんかには振り向くな(苦しいナア)。あえて跳べ、あえて試みよ。しょせん人間ちょぼちょぼや。これが私の愛した地理研へのせいっぱいの送歌である。11月2日の晩にはきっと逢おう。では又(GON)

#### 11. 昭和49年3月11日第17(復刊)号

1)「OB つうしん」を再び作ることにになりました。地理研のOB数も増えこの4月には70名近くになります。前々からOBと現役会員とのつながりというものが、年1回の総会、交換会だけでは少ないのではという声が聞かれ、事実Obにとって地理研の現状はもちろんのことOB相互の様子さえもほとんどわからない状態でありました。そこで、OB相互、更にはOBと地理研・現役会員とのつながりに少しでも役に立てばと思い、再び「OB つうしん」を作ることにした次第です。どのようなものになっていくかわかりませんが、余裕のある限り、続けていくつもりです。どうか末永くご協力・ご支援のほどよろしくお願いいたします。

2)ちりけんだより

・研修合宿。3月11日より13日まで明石市の学生野外活動センターにおいて講演とゼミ方式によるミーティングによって、研修テーマ「我々にとって地域調査とは何か、また地理研における地域調査の

方向性及びその方法はどうあるべきか」についてクラブ員各自が今一度考え、調査合宿への意識向上の場とする。

- ・今年には地理研創立 10 周年目にあたり、時間や財政の許す限り記念行事などの多彩な活動を企画して

いきたいと思っています。また、クラブ資料の整理とともに、瀬戸内調査シリーズのまとめもそろそろ考える必要があると思われる。

## 12. 昭和 49 年 7 月 20 日第 18 号

### 1) ちりけんだより（活動報告）

OB の方々のご協力に恵まれ、又岡村島の人々の理解と協力を得て、研修合宿と調査合宿という3か月館の強行スケジュールも何とか消化出来ました。各パートとも一応の成果を収め、夏合宿に向けてテーマ・調査項目の設定へと進めました。更に勉強会も一部のパートを除いて順調です。

新入生はというと、11 人（男 8 人・女 3 人）入部し、オリエンテーションを経て、すっかりクラブに打ち解けています。皆積極的にクラブ活動に参加しており将来が楽しみです。先月 16 日のソフトボール大会でも 2, 3 年に快勝し当分は、彼らの天下が続くのではとの下馬評です。また、下宿生が 7 人（男 5 人・女 2 人）と自宅偉より多く、中に静岡、倉吉、富山県出身者も居り、地理研も徐々に拡大していくようです。

夏合宿は 2 回目の岡村島訪問ということで、だれることのないよう特に 3, 2 年を引き締めて、初めての同一地域 2 回調査の利点を生かして、実のある調査にしたいと思っています。

中央芝生も一層緑が増し、私たちに潤いを与えています。最後になりましたが、例の財政危機も OB の方々の送金や部費値上げ等で無事脱することができました。しかし、今年は学費値上阻止闘争で大学祭の不開催（即ち模擬店なし）も予想され、次の報告書（白石島、馬渡島）発行を前に心配な状況です。

### 2) 伝言板

去る 5 月 5 日に開きました“新 OB 歓迎会”には、新旧 OB 24 名の方々が出席されました。新阪急ホテルでの会食の後、ボーリングをし、楽しいひと時を過ごしました。

## 13. 昭和 49 年 10 月 20 日第 19 号

### 1) OB 総会 11 月 2 日（土） 現役会員との交歓会 11 月 3 日に集合

今年も恒例の OB 総会、現役会員との交歓会の季節がやってきました。Ob 総会といっても、別段何をするでもなく、ただ何となく、食べて、飲んで、しゃべって、ワイワイさわぐのです。そして翌日、昼過ぎから現役会員とソフトボールなどをやって、夕方から、去年に引き続いて椿壮で交歓会があるのです。OB 70 名、現役会員 50 名、全員そろったとしたら 120 名。全員そろったら一体どんな光景が、一度見たいものですね。とにかく、何もかも忘れ、大いに若返り、楽しもうではありませんか。但し、中味のぎっしりつまったサイフだけは忘れないように、お願いしまーす。

11 月 2 日（土） OB 総会 宝塚 旅館「分銅家」

11 月 3 日（日） ソフトボール大会 PM1:30 関学図書館前  
交歓会「椿壮」阪急甲東園駅前

### 2) ちりけんだより（活動報告）

OB の方々の暖かい激励と援助により、また岡村島の人々の春に引き続いての誠意ある居力を得て、夏合宿も何とか日程を消化することができました。

今は調査結果を各パート毎に整理、検討を終え、第1項の検討会の真っ最中です。果たして春・夏2回同じ島を調査しただけの成果をあげることができたか疑問ですが、検討会などをつうじて評価がなされてゆくことでしょう。第1稿のレジュメは新OBの方々から寄贈してもらった輪転機によって印刷されました。

先日の体育の日に関学地理研主催で5大学（関大風土研究会、甲南大人文地理研究会、追手門大地理歴史研究会、帝塚山大人文地理研究科）合同のハイキングをおこないました。

#### 14. 昭和49年12月20日第20号

##### 1) ちりけんだより（活動報告） 第10代会長総谷（かせたに）宗男氏

現在、この新執行部及び全部委員は、難しい問題に取り組んでいます。今の地理研は種々の問題から曲がり角に来ていることは、部員全員が思うところ、またOBの方々もそう思われているかもしれません。そこで今まで行われてきた例会、合宿、検討会、五大学、グループ活動—これらのことを部員全体で新たに考え直し体質改善を計ろうとしている状態です。ですから、先輩の方々が築いてこられた瀬戸内離島調査シリーズというの、何らかの形で終止符を打たなければならないかもしれません。しかし、我々はよりよき地理研をつくろうとして、種々の問題を抱える現在のクラブにメスを入れるつもりで頑張っています。

#### 15. 昭和50年4月1日第21号（地理研10周年）

##### 1) 後記

「OBつうしん」を復刊して1年。OB間の情報交換・連絡として役立ち、とてもうれしく思います。しかし、原稿の集まりが大変悪く毎回どうしようかとハラハラしています。

新幹線が博多まで開通し、この春は、誰もかかもしれませんが、山口、萩、津和野、そして九州へ・・・僕も行ってきます。

#### 16. 昭和50年7月20日第22号

##### 1) 伝言板

またOB総会の時期がやってきます。今年は地理研も10才。何か良い企画がありましたら、是非お知らせください。

##### 2) 後記

今回は、新OB特集をするつもりでしたが、原稿が集まらず、こんな22号になってしまいました。

#### 17. 昭和50年11月6日第23号

##### 1) 11月22日(日)・・・OB総会 11月23日(日)・・・現役会員との交歓会

恒例のOB総会・現役との交歓会を今年も下記の要領でおこないます。

例年ならば11月2,3日を開くはずなのですが、今年は現在“4年生のきびしい就職戦線の最中”ということで、現役会員からの要望もあり、日時を遅くしました。11月2,3日に予定しておられた方々には、たいへん申し訳ありません。

“地理研10年”ということで、何か企画をと考えていたのですが、今のところ良い考えもうかばず、どうも例年のごとく現役会員とのソフトボール大会をするつもりです。ちょうど大学祭の最中でもありますし、大学祭見物がたら、男性、女性、夫婦づれ、子供づれ・・・多数お集まりください。

11月22日(土) OB総会 宝塚 旅館「島家」

11月23日(日) ソフトボール大会

### 3) ちりけんだより（近況報告）

- ・ 晩秋の頃となり学内の木々もようやく色づき始めましたが、諸先輩方はいかがお過ごしですか。我々現役部員は、7月末に山口県豊浦郡豊北町「角島」の合宿調査を無事終え、現在報告書作成のための検討会に追われる日々を送っています。今年は離島調査を続けていくべきかどうか、又調査方法や検討会等、根本に立ち返って、地理研の活動を、全部委員で考えてきたのですが、我々の勉強不足と経験のなさから。様々な新しい試みはしたものの例年と大きな変更もなく、活動してきました。

しかし、多くの部員が、今まで続けてきた離島調査においても日常の諸活動においても少なからず疑問を持っており、又現在がその過渡期であるという認識をもっており、徐々に新たな姿に変わっていくように思われます。角島の調査においては、例年のようにパートは組織しましたが、新たに、各部員が個人テーマというものを設け、今までとかなおざりにされていた個人の興味を引き出し、主体的な調査活動を行おうと試みましたが、合宿を終わって今考えるに、個人テーマを中心に活動していたパートもあります。我がクラブが共同調査という前提のもとで、多くのパートが個人活動とパート活動の兼ね合いに無理を生じていたように思われます。また、例年長い時間を要していた検討会も、時間節約と内容充実のため、パート内検討に重きをおき、部員全体での検討会は一度だけにしましたが、現在行われているのを見ると必ずしも、その目的が、かなえられているかどうかは疑問です。我々は、クラブが抱えていた問題に対して、この他にも種々の試みはしたものの、現在ふりかえてみると何もできなかったように思われます。しかし、この試みをもとにして、今後今の2年生を中心として、地理検おために考えていってほしいものです。

現在、クラブ内では大学祭や執行部交代を控え、あわただしくなっています。特に1年生は、調査合宿を終えて、ようやく地理研の活動になじみ、理解してきたのか、クラブに対して、積極的な意見が聞かれるようになりました。

また、4年生は例年にない就職難のために、現在内定しているのは、3~4人の状態で連日悪戦苦闘をされている様子で、ロビーや例会にもあまり顔を出されていません。

尚、大学祭（甲山（こうざん）祭）は11月19日（水）~24日（月）の6日間、わが地理研も展示を行いますので、23日のOB会を兼ねて、是非来てください。

- ・ 地理研スキーツアー。来年1月3日~8日まで、樺池高原へスキーに行きます。3日の夜行で出発し、8日の朝、帰着。OBも大歓迎です。宿泊の都合もありますので、希望者はなるべく早い目に白石直也クンにまで連絡してください。

### 4) 後記

この秋は結婚ラッシュとか・・・地理研のOBの中にも続々“新婚さん”が誕生しました。結婚された方々、本当におめでとうございます。“新婚気分”を「OBつうしん」にも、分けていただけたら、うれしいのですが・・・近況報告、どうかよろしく

## 18. 昭和51年4月1日第24号

### 1) しょうそく

昨年の秋は、結婚ブームとかで、地理研OBの中でも、たくさんの方々が結婚されました。そこで今回は結婚されたばかり、いわば新婚ほやほやの4人の方々の近況（新婚生活）をお知らせします。

富江さん、井川（急性安藤）さん、地理研カップル第1号松本孝文、（旧制水野）洋子さん、



## 2) ちりけんだより（活動状況）

新執行部が結成された時点において、地理研の調査活動には多人数で狭い場所を訪れるということでの調査地への迷惑、対象地域を島に限定していること、また調査活動自体のマンネリ化など、いろいろな問題があり、これらを解消するために、調査対象地域を島以外に農村、漁村、山村を含め、夏の合宿調査は隣接2地域の分散合宿ということに決定しました。

このように地理研の主要活動である調査活動を改革しようとする、対外活動である関西学生地域調査協議会（前の5大学）には積極的に関与できなくなるので、昭和51年1月10日に関地協を脱退しました。

その他、現在までの活動は、川喜田二郎著「野外科学の方法」（中公新書）を使った勉強会などを行っています。春には調査合宿をせず、調査対象地域の選択並びに調査方法の決定のために研修合宿を4月中旬に永沢寺（三田市）で行う予定です。

## 3) 伝言版

昨年11月22日～23日に行いました“OB 総会交歓会”には、多数の方出席されました。OB 総会は、吉田君、松岡君といったOBに、お忙しい中、大島先生もご出席下さり、和気あいあいと話しあひ、楽しいひと時を過ごすことができました。

## 19. 昭和51年10月20日第25号

### 1) 11月7日（日）に恒例の現役会員との交歓会を行いますー「椿壮」にて

恒例のOBと現役会員との交歓会を下記要領で行います。今年は、11月2日から7日まで学園祭も行われることになり、7日ならば、地理研の発表や学園祭も同時にご覧いただけると思い、2時ごろから始めたい思っていますので、多数お集まりください。

### 2) 旗紛失に対する謝罪文（会長 沢田）

7月1日合宿へ行く途中、松江で降りる時に列車の中に、地理研究会の旗を置き忘れ、その後駅や警察などに問い合わせ調べてみたのですが見つかりませんでした。役員で話し合い、買い替えは済むというものではないですが、同じ旗を作って、それを今後の地理研究会の旗としていくこととお許しいただきたいと思えます。何年も愛用してきた旗をなくしたことは、OBに対して非常に申し訳なく、深く反省しております。この紙面を借りて深くお詫びすることでお許しください。

### 3) ちりけんだより

本年度は島根県八束郡島根町という島根半島北岸の漁村を調査地として選びました（夏合宿機関7月1日～9日）。調査方法は、依然と同様、ブロック・パート調査を行いました。島のように狭い範囲ではないため分散合宿という型をとって島根町の加賀・野波地区にクラブ員を分けて調査を行いました。島に比べ、世帯数も多く、面積も広くて、集落も分散しているため、部員も歩きまわってさうとう疲れていたようですが、何とか調査をしてきました。また、島根町の人々も非常に協力的であったので調査も思ったり、スムーズにいったのかもしれませんが。

### 4) 後記

恒例のOB総会—どうしたらよいものか・・・—昨年くらいから開催の有無についつい悩んできたのですが、今年は、まだ迷っており、結論は出ておりません。おBの方々のご意見を是非お聞かせください。